

ふりがな 氏 名	たけうち まさひろ 竹内 正裕	職 名	准教授
取得学位	修士(学術)	学会での受賞歴	なし
主な担当科目	教育の方法と技術、総合的学習の理論と方法		
所属学会	日本グループダイナミックス学会、日本教育方法学会、日本授業UD学会、日本教育情報学会		

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
教育方法の実践	平成 29 年 4 月～	授業において使用するスライド資料を事前に学内の LMS を利用し学生の予習・復習に活用させている。 また、オフィスアワー及びメールにて、学生からの相談を随時受け付けている。
作成した教科書・教材	平成 29 年 4 月～	教育の方法と技術の授業においてタブレットを利用した国語と算数の理解補助のための教材を作成し、学生が作成する際の参考教材として活用している。
高校への出前授業	平成 29 年 11 月	津島北高等学校 1 年生を対象とした大学講義体験授業(教育の方法と技術)の講師を務めた。
指導案のデータベース化	平成 30 年 10 月～	教育実習等で学生が作成した指導案をデータベース化し、指導案の検討及び活用できるようにしている。
スライドでよくわかる教育の方法と技術	令和 2 年 3 月	教育の方法と技術の授業におけるスライド資料を冊子にまとめ学生が参照できるようにした。
小学校教育実習の手引き	令和 3 年 3 月～	小校教育実習事前指導に使用する手引きの改訂 小椋邦夫・榊川知と内容の修正・追加をする。
高大連携体験授業	令和 3 年 12 月	名古屋女子大学高校 2 年生を対象に大学体験授業(教育の方法と技術)を行う。

◆ 研究業績

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・ 展覧会・演奏会の名称(会場名)	備 考
著 書	教員免許状更新講習の理解を深めるための教育・保育の論点ガイド No.2	共	平成29年7月	三恵社	第1章4節 小中学校間の連携・接続に関する現状と課題を執筆 pp.19～24
	教育・保育職シリーズ4 教育・保育の学びプラス・ワン	共	平 29 年 12 月	三恵社	第 2 部第 11 章 総合的な学習の時間における全体計画作成の留意点を執

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・ 展覧会・演奏会の名称(会場名)	備 考
著 書	総合的な学習の時間の指導計画	単	平成30年1月	三恵社	筆 pp.79～84 職場体験学習と国際理解活動を中心とした指導計画について記述、また「生き方」や「職業観・勤労観」のキャリア発達の視点からも記述した。68頁
	教職・保育職シリーズ5 教育・保育の新視点	共	平成30年3月	三恵社	第1部第2章 進路指導・キャリア教育における評価を執筆 pp.11～20
	教員免許状更新講習の理解を深めるための教育・保育の論点ガイド No.3	共	平成30年7月	三恵社	第1章3節 JSLの子どもたちへの支援について執筆 pp.18～24
	進路指導・キャリア教育における評価	単	平成30年9月	三恵社	進路指導・キャリア教育における評価について職場体験の実践を通して記述した。46頁
	シリーズ教育・保育の論点 教授法と子ども理解	共	令和元年7月	三恵社	第2第4プログラミング教育にどう取り組むか pp.72～78
	シリーズ教育・保育の論点 理論と実践	共	令和2年8月	三恵社	第1部第4章 ユニバーサルデザインを視点とした授業 pp.24～31
	シリーズ教育・保育の論点 新時代の学び	共	令和3年7月	三恵社	第1部第6章 学級集団の理解と形成 pp.41～48
	改訂 スライドでよくわかる教育の方法と技術	単	令和3年10月	三恵社	教育のICT化への追記を含め教育における方法と技術について記述した。110頁

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・ 展覧会・演奏会の名称(会場名)	備 考
論 文	総合的な学習の時間の授業設計 ー学習指導要領の改訂ポイント を視点としてー	単	平成 29 年 10 月	名古屋女子大学 児童教育学科 児童教育論集第 1 号 10 頁	学習指導要領の 改訂ポイントを 踏まえ国際理解 活動を国際貢献 活動まで発展さ せた計画の実際 例を示し記述し た。
	キャリア教育における進路指 導	単	平成 30 年 2 月	名古屋女子大学 児童教育学科 教育・保育モノグラフ No.2 10 頁	中学校の進路指 導をキャリア教 育の視点から記 述した。特に職場 体験活動の多面 的なアプローチ 法について記述 した。
	ユニバーサルデザインを視点 とした授業の現状と課題	単	平成 30 年 3 月	名古屋女子大学 研究紀要第 64 号 9 頁	ユニバーサルデ ザインを視点と した授業の現状 と課題を学級環 境と指導法につ いて意識調査を 行い分析した。
	ワークショップ型授業研究の 方法と課題	単	平成 30 年 12 月	名古屋女子大学 児童教育学科 児童教育論集第 2 号 7 頁	ワークショップ 型授業研究につ いてマトリック ス法、概念化法等 の方法と課題に ついて記述した。
	ユニバーサルデザインの授業 における学生の視点	単	平成 31 年 3 月	名古屋女子大学 研究紀要第 65 号 8 頁	ユニバーサルデ ザインの授業 VTR 生がどんな視点 で有効な手立て を抽出している かを検討した。
大学における効果的な授業法 の研究 7 ー学生が主体的に学 修する力を身につけるための 教育方法の開発ー	共	令和元年 5 月	名古屋女子大学 総合科学研究 第 13 号	授業観察におい てインプットを KJ 法的手法によ り学修させた。こ の方法について の長所と短所を 記述した。	

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
論文	ユニバーサルデザインの授業における小学校教員養成課程学生と保育士養成課程学生の視点	単	令和2年3月	名古屋女子大学 研究紀要第66号11頁	全47頁 (pp. 32~34) ユニバーサルデザインの授業 VTRから小学校教員養成課程学生と保育士養成課程学生がどのような視点で有効な手立てを抽出しているかを比較検討した。
	SGE エクササイズにおける対面とリモートの比較	単	令和3年12月	名古屋女子大学 児童教育学科 児童教育論集第5号 10頁	SGE エクササイズにおける対面とリモートの比較を行い効果の共通性と場面特性における特異性を検討した。
その他 (報告書)	大学における効果的な授業法の研究7—学生が主体的に学修する力を身につけるための教育方法の開発— (機関研究中間報告)	共	平成30年5月	名古屋女子大学総合科学研究所『総合科学研究』第12号	遠山佳治 (代表) 竹内正裕, 他13名
	大学における効果的な授業法の研究8—本学における効果的なアクティブラーニングの開発— (機関研究中間報告)	共	令和2年5月	名古屋女子大学総合科学研究所『総合科学研究』第14号	三宅元子 (代表) 竹内正裕, 他12名
	大学における効果的な授業法8 (平成30~令和2年度) —本学における効果的なアクティブラーニングの開発— (機関研究中間報告)	共	令和3年5月	名古屋女子大学総合科学研究所『総合科学研究』第15号	三宅元子 (代表) 竹内正裕, 他12名
	大学における効果的な授業法9 (令和3年度~令和5年度) —本学教育に適した効果的なインスタラクショナルデザインに関する研究— (機関研究報告)	共	令和4年3月	名古屋女子大学 『総合科学研究所だより』第34号	竹内正裕 (代表) 市村由貴他7名